＜令和８年度 更新・継続＞

一般社団法人名古屋林業土木協会会員のＣＮ、ＧＸ、ＮＰ、生物多様性、ＤＸ等の取組事例

※前回報告からの変更・進展がない場合も「継続」として現在の状況をご記入ください。新たな取組は「新規」としてください。

実施主体				
区　分	**ＣＮ** **（カーボンニュートラル）** 温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させる取組。	**ＧＸ** **（グリーントランスフォーメーション）** 化石エネルギー中心の産業･社会構造をクリーンエネルギー中心へ転換する取組	**ＮＰ** **（ネイチャーポジティブ・生物多様性）** 生物多様性の損失を食い止め、自然の回復を目指す取組。	**ＤＸ** **（デジタルトランスフォーメーション）** データやデジタル技術を活用して、業務・組織・プロセス等を変革する取組。
			○	
取組名称	ネイチャーポジティブ宣言			
取組の区分・状況	継続（前回報告から更新）			
取組開始時期	2024年から継続的に実施			
前回からの変更・進展	継続的に活動中			
現在の取組内容	・2030生物多様性枠組実現日本会議（J-GBF）が登録を呼びかける「ネイチャーポジティブ宣言」を行い、生物多様性の保全と自然環境の回復に向けた取り組みを推進している。 ・建設業として、事業活動と自然環境との関わりを認識し、工事における生態系への配慮や地域の自然環境保全など、生物多様性の視点を取り入れた活動に取り組んでいる。			
経　費				
効果・成果	・ネイチャーポジティブの考え方を社内で共有し、事業活動における自然環境への配慮や、生物多様性保全に対する意識の向上を図っている。 ・会社のブランディング力強化を図る。			
課　題				
今後の予定・展開	引き続き自社活動を通じて、自然環境及び生物多様性の保全に貢献する。			
備考・コメント	具体的な活動は別シートで報告			

写真1	 J-GBF（2030生物多様性枠組実現日本会議） ネイチャーポジティブ宣言 2026年10月15日時点 **発出企業・団体数：502団体** **宣言への賛同を表明した企業・団体数：664団体** **延べ参加企業・団体数：1166団体**
写真2	